



夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第34号 ～ 令和5年10月23日

校外学習～1・2年、5年～

20日に1, 2年生と5年生が校外学習に出かけました。1年生は国語「うみのかくれんぼ」で生き物の隠れる場所と隠れる方法、2年生では国語「どうぶつ園のじゅうい」で獣医の仕事を読み取っていく学習を行いました。生き物の学習とつなげて松島水族館へ出かけました。イルカショーの迫力に魅了されたり、展示されているたくさんの生き物を興味深く見たりしていました。またドクターフィッシュの水槽の中に手を入れ、つつかれる感触を楽しんでいる姿も見られました。生き物とのふれあいを通して関わり方への理解が深まっただけでなく、心も癒やされていたようです。5年生では社会科「水産業のさかんな地域」で水産業の仕事の工夫や努力、課題などの学習をしました。そこで漁業が盛んな越前町の越前がにミュージアムの見学に行きました。巨大越前がにの模型が展示されていて子供たちは目を丸くしていました。見学を通して様々な漁法と捕獲できる魚やかにかにの種類など細かく知ることができました。また、生きた魚にふれあったり水槽のトンネルで魚の泳ぐ姿を下から観察したりと海の生き物への理解を深めることができました。昼食は越前陶芸村でバーベキューをして交流を深めました。この日は途中から雨の天気でしたが、そのような中でも子供たちは充実した活動ができたようです。



ボランティアスクール～4年～

4年生が17日に町社会福祉協議会の方を講師にボランティアスクールを実施しました。初めに協会の方からボランティア活動を行う際の4原則（①自主性②無償性③創造性④社会性）と2つの心構え（①相手の立場に立って考える②仲間づくり）についてクイズをしながら分かりやすく教えていただきました。これらを学んだ後に、アイマスクと車椅子の体験をしました。アイマスク体験では目隠しをして介助者の肩に手をかけて恐る恐る歩いていました。不安定な足元から見えない不安が感じられました。介助者は障害物があっても安全に歩けるよう気をつけながら介助していました。車椅子体験では数cmの段差や坂道などを設定し乗ったり押したりしました。数cmの段差があるだけで車椅子が進まなくなりそれを越える方法を学びました。また、緩やかな坂道では普通に歩くには問題が感じられなくても押して登ろうとするとかなりの力が必要なことを体感していました。乗っている方も段差などで車椅子が不安定になりそうだというのを感じていたようです。普段の生活においてあまり経験することはないかもしれませんが、障がいを持つ人たちが安心・安全に生活していけるためにどのようなことに気を付けなければならないかを考えるきっかけになりました。

相手が何を考えているのかどんなことに困っているのかは分からないのは当たり前です。自分がよかろうと思って手出しするのは余計なお節介につながりかねません。分からないことはしっかりと相手に聞いて対応することが大事です。これから将来どんな場面に出会うかは分かりません。必要になったときに今回の学びを生かしてほしいと思います。

